

放射第5号線（高井戸東区間）改良事業説明会 議事要旨

1. 開催概要

日 時：平成30年2月8日（木） 19時00分～20時30分

場 所：杉並区立高井戸東小学校 体育館

出席人数：27名

2. 説明内容

改良事業の概要、沿道環境対策の概要、事業の進め方について

3. 主なご質問と都の回答（要旨）

【改良事業の概要】

質問1： 放射第5号線の高井戸東区間、高井戸西区間、久我山区間の開通はそれぞれいつになるのか。

回答1： 放射第5号線の高井戸東区間、高井戸西区間、久我山区間及び東八道路までの約4km区間を同時に開通させる予定です。

開通時期は、平成29年度末の予定でしたが、工事の契約不調や関係機関との協議の影響のため、1年程度遅れる見込みです。4車線化に必要な工事の契約後、改めて開通の時期をお示しします。

質問2： 中の橋交差点の形状変更の内容は。

回答2： 中の橋交差点は、現在実施中の高井戸西区間の事業にあわせて、交差点の形状を変更いたします。

一つ目は、右折レーンの形状変更です。現在、上り線、下り線でそれぞれ別のタイミングで右折しているものを、自動車が交差しないようにして同時に右折できるようにします。

二つ目は、交通島を撤去し、左折する自動車に対しても信号制御を実施します。これにより歩行者と自動車のそれぞれの安全性が向上すると考えています。

三つ目は、交差点の西側と東側に自動車の転回路を設置します。

質問3： 環八通りの荻窪方面から放射第5号線を右折できるよう、中の橋交差点の形状を検討してほしい。

回答3： 環八通り内回りから放射第5号線への右折レーンについては、将来は設置する方向で警視庁と調整しています。整備の時期については、外環道などの開通による交通状況を確認してからとなります。

【沿道環境対策の概要】

質問4： 将来交通量や環境予測について、現況との比較はどうか。

回答4： 交通量について、放射第5号線のうち、環八通りと首都高高井戸出入口の間の断面A付近では、平成24年度の調査で約4.4万台であり、4車線供用時で約5.9万台と予測しており、約1.5万台の増加を予測しています。

大気の現況値については、今回の高井戸東区間ではありませんが、杉並区が富士見丘小周辺で行っている平成28年度調査では、二酸化窒素が0.04ppm、浮遊粒子状物質は0.047mg/m³となっております。（富士見丘小周辺の大気調査結果と今回の高井戸東区間の予測値とは、観測高さが異なるため、単純な比較はできません）

騒音・振動の現況値については、今回の予測地点である断面A（環八通りと首都高高井戸出入口の間）と断面B（首都高高井戸出入口から下高井戸陸橋までの間）では計測しておりません。

今回の改良事業により、本線が4車線となることにともない、断面Aでは、沿道環境対策として車道の両側にある既存の高さ3.5mの遮音壁のほかに、中央分離帯に高さ2mの遮音壁を新たに設置します。あわせて、本線の車道には低騒音舗装を実施します。断面Bでは、首都高速道路の橋脚付近に高さ1mの遮音壁を新たに設置します。あわせて、本線の車道には低騒音舗装を実施します。

これらの沿道環境対策を実施することにより、騒音、振動の予測値は全て環境基準を満足します。

※断面A及び断面Bの位置に関しては、別途資料（パンフレット）の「沿道の環境影響予測・評価」を参照してください